

十二音会 第四十二回公演

雅楽

管 絃

平調音取
ひょうじょうねどり

林歌
りんが

紅葉(朗詠)
こうよう ろうえい

王昭君
おうしょうくん

舞 楽

左方
さほう

陵王
りょうおう

右方
うほう

長保楽
ちやうぼうらく

※演奏曲目、曲順は変更になる場合がございます。

令和四年十一月十二日(土) 午後六時三十分開演

於／紀尾井ホール(裏面地図掲載)

入場券／全席指定 五千円

お問い合わせ／オフィス虎丸 〇四六(八六二)八三六七

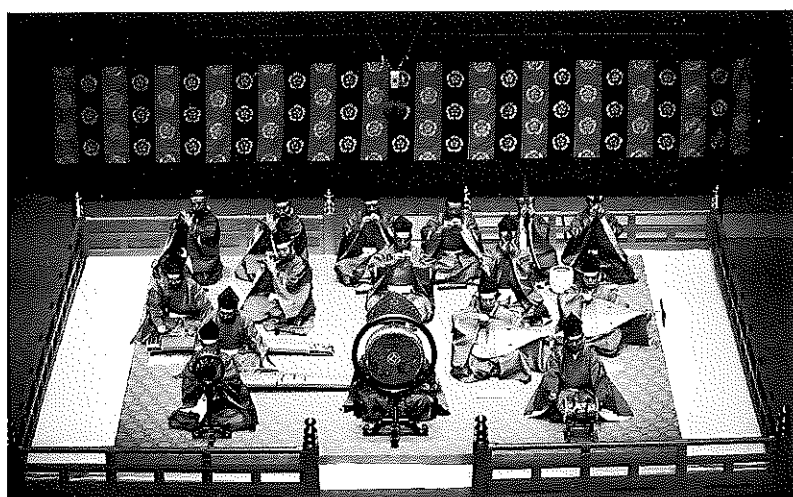
E-mail: toramaru@pop06.odn.ne.jp

「十二音会」紹介

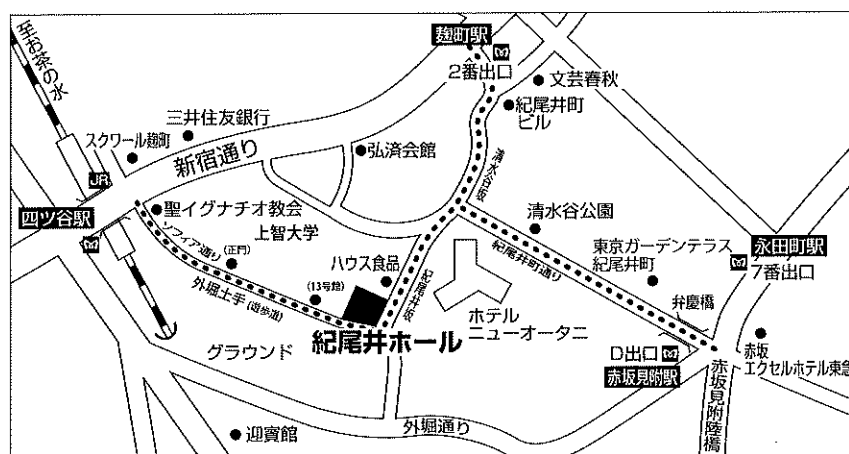
千数百年の歴史ある雅楽の伝統を受け継ぎ、それを後世に伝えることを使命としている楽師の有志が中心となり、永年の研鑽を内に留めることなく一歩前に踏み出して雅楽の有する芸術性を一般に問いかけるべく昭和五十二年秋に発足した雅楽演奏団体。

発足以来、昭和五十三年夏より令和元年夏まで回を重ね、今回、三年ぶりに開催、第四十二回公演を催す運びとなる。公演の二回目より、伝統芸術と現代芸術の融合の可能性を求めて新曲活動もはじめ、藤田正典曲「雅楽のための音楽口トス」、芝祐靖曲「招杜羅紫苑」、小橋稔曲「燕楽」、尾崎敏之曲「管絃のための無明」、川崎祥悦曲「宙心の譜」、松本民之曲「霓裳」、尾崎敏之曲「咒」、内河弘之曲「呼ぶ声在り」を発表してきた。

平成二十四年の第三十四回公演に於いては、平成二十一年に東儀俊美氏と芝祐靖氏により舞の復興、楽譜再興が果たされた囀囃序・荒序を含む「陵王一具」を演奏した。また平成二十五年に伊勢の地に於いて披露した「河水久澄」を翌年の第三十六回公演の演目とするなど、全国各地にて雅楽公演や依頼演奏を行い、雅楽の普及につとめている。



写真提供 林 陽一



最寄駅

- 四ツ谷駅 麹町口
(JR線・丸ノ内線・南北線)
徒歩6分
- 麹町駅 2番出口
(有楽町線)
徒歩8分
- 赤坂見附駅 D出口
(銀座線・丸ノ内線)
徒歩8分
- 永田町駅 7番出口
(半蔵門線・有楽町線)
徒歩8分

紀尾井ホール ☎102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号 tel.03-5276-4500(代)

※新型コロナウイルス感染症拡大予防として、今後の状況によっては公演の開催中止または延期、販売方法や座席数などが変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

※当日はガイドラインに従って、安心して鑑賞できる環境を整えて参ります。ご来場の際は、マスク着用、検温、手指消毒、手洗い、控えめな会話、社会的距離の確保のご協力をお願いいたします。